
メ～テレ 狩野隆也社長 定例会見
開局 60 周年で“東海 3 県に熱い地元愛を届ける”
新コピーは「メ～ロメロ！メ～テレ」
～朝ワイド 35 年で「ドデスカ！」をさらに強化～

メ～テレ（名古屋テレビ放送）は、3月25日（金）に狩野隆也（かの・たかや）社長の定例会見を開きました。

メ～テレは4月1日に開局60周年を迎えます。会見で狩野社長は、4月からの新しいキャッチコピーを「メ～ロメロ！メ～テレ」とし、キャラクター「ウルフィ」のデザインも、より親しみやすくリニューアルすることを発表しました。

狩野社長は、4月からの1年間を60周年期間として、53年前に名古屋市に寄贈した栄の噴水「希望の泉」の再生プロジェクトや、従来から注力している映画製作に関するイベントなど、様々な取り組みを展開することを明らかにしました。

また、今年はメ～テレが自社制作の朝ワイド番組をスタートして35年、「ドデスカ！」が20周年を迎えることから、3月27日（日）に特別番組を放送し、「今後も地域とのつながりを増やし、“名古屋唯一のローカル朝ワイド番組”としてさらに強化していく」と語りました。

メ～テレ 60 周年 Web サイト : <https://www.nagoyatv.com/60th/>



メ～テレ 狩野隆也社長

会見の要旨は、以下の通りです。

狩野でございます。日頃から皆さま方には格別のご支援をいただき、誠にありがとうございます。

メ～テレはこの4月1日に、開局からちょうど60年を迎えます。節目の年ということで、これから1年間、地域の皆様にも多くのコンテンツをお届けしてまいります。

それでは、始めに視聴率からご報告させていただきます。

2021年度の視聴率は4月3日をもって確定しますが、現時点で、個人全体視聴率が「全日帯」が3位、「ゴールデン帯」が4位、「プライム帯」が3位で推移しています。

朝の「ドデスカ！」については、1部、2部ともに前の年を上回るなど、好調を維持しています。引き続き、名古屋唯一の自社制作の朝ワイド番組として、力を入れてまいります。

続いて、今期の決算の見込みについてご説明します。当社は3月決算です。

20年度に新型コロナウイルスの影響で大きく落ち込んだスポット売上ですが、当期は堅調で、コロナ前の2019年レベルまで回復しました。1年を通して多くの出稿をいただき、大変ありがたいことと思っております。また、全社でコストコントロールに取り組んだこともあり、4期ぶりの増収増益となる見込みです。

しかしながら、新型コロナウイルスに加え、ロシアによるウクライナ侵攻など、先行きは不透明で、経営環境が安定しているとは言えない状況が続きます。今後については慎重に見ていく必要があると感じています。

詳細につきましては、5月下旬頃、決算が確定した後に、経済記者クラブで説明させていただく予定です。

メ〜テレでは、時代の変化に対応しながら、これまでの“テレビ局”の枠を超えて成長していくことを目指し、昨年4月から3年間の第5次中期経営計画をスタートしました。

「地上波放送事業」「コンテンツビジネス戦略」「新規事業」を3本柱としながら、従来のやり方にとらわれないシナジー領域の拡大にも取り組んでいます。新型コロナウイルスの影響で全てが順調とは言えませんが、各分野で芽が出て、花が咲きつつある取り組みもあると、私は評価しています。

まず「地上波放送事業」においては、4月改編で、メ〜テレの強みである生の情報番組をさらに強化します。特にこの4月は、メ〜テレが自社制作の朝ワイドをスタートして35年、「ドデスカ！」というタイトルにしてから20年の節目の年です。それを記念して、3月27日(日)午後2時間の特別番組を放送します。

さらに4月からは、毎週土曜の午前に、「ドデスカ！」と夕方の「アップ！」の人気コーナーを再編集してお届けする「ドデスカ！&アップ！メ〜ロメロ！増刊号」を放送します。両番組のファンの方、見逃してしまった方、初めて番組をご覧いただく方にもお楽しみいただける番組です。

「コンテンツビジネス」では、アウトドア情報に特化したWEBサイトと動画の複合型モデル事業「ハピキャン」が、まもなく丸3年になります。動画サイトの登録者が22万人を超え、事業として成立しつつあります。

また、メ〜テレは番組制作で培った映像制作のノウハウを生かし、かねてから映画事業に積極的に取り組んできました。今年も複数の新作映画の公開を予定しているほか、メ〜テレシネマのブランドをより多くの皆さんにアピールするためのイベントも企画しています。

続いて「新規事業」では、昨年5月、社内起業家制度の第1号として、「ドリームチームズ株式会社」を立ち上げました。社長は入社3年目の若手社員で、スポーツ選手の活躍を予想するゲーム「ファンタジースポーツ」を展開しています。

2月には、これまでのバスケットボール女子Wリーグに加え、サッカーJ1リーグで予想ゲームが楽しめるようになりました。メ〜テレとしては全く新しい分野でのチャレンジになりますが、若手の挑戦は会社全体にとって大きな刺激になっています。

そして、5次中計2年目を迎える当社にとって、非常に大きな取り組みとなるのが、開局60周年事業です。

4月1日、メ〜テレは開局60周年を迎えます。この節目の年に生まれ変わるべく、新しいキャッチコピーを作りました。

2022年3月25日

4月からのコピーは「メ〜ロメロ! メ〜テレ」です。キャラクターの「ウルフィ」のデザインも、より柔らかく親しみあるデザインにリニューアルします。

60周年のテーマソングは、地元出身の男性3人組、ソナーポケットの書き下ろし曲「いつも一緒に」です。来週から「ドデスカ!」のテーマ曲としても使用します。

その他、53年前に当社が寄贈した名古屋・栄の噴水「希望の泉」の再生プロジェクト、地域と連携した取り組みとして、愛知県南知多町の内海海水浴場を舞台にした「内海 BEACH PROMOTION」、当社が手掛けた劇場映画を再上映する「メ〜テレシネマ映画祭」、この地方の皆さんに人気の高いフィギュアスケートの大型イベント「Fantasy on Ice 2022 in NAGOYA」など、60周年にふさわしい企画や特別番組などを順次出していく予定です。ご期待ください。

また、世界的な潮流として、企業や自治体に取り組んでいる「SDGs」については、60周年を迎えるにあたり、メ〜テレグループが一丸となって取り組みを加速していくため、改めてグループとしての指針をまとめました。

その一環として、本日、メ〜テレと関わりの深い名古屋・栄で、東海地区初となるスマートゴミ箱「SmaGO」（スマゴ）を設置しました。

私からは以上です。ご清聴ありがとうございました。



狩野隆也社長と
メ〜テレ 60周年アンバサダーの望木聡子アナウンサー、
ウルフィ



「ドデスカ!」メイン MC の竹田基起アナウンサーと
4月からサブ MC を務める
島津咲苗アナウンサー(左)と小松崎花菜アナウンサー(右)、
ウルフィ

以上